

特定非営利活動法人



ふぁみりあネット

Wave

ウエーブ

第90号

令和6年 秋だより



P3 弁護士・防災士 永野 海氏による防災学習会「被災後の生活再建 支援制度活用の基礎知識」

■■■ 主な内容 ■■■

- P.2 情報を知ることの大切さ 理事長 夏目智子
- P.3 防災学習会「被災後の生活再建 支援制度活用の基礎知識」
- P.4 ふくろいファミリー・サポート・センター
孤独・孤立対策推進シンポジウムに参加(役職員研修)
- P.5-7 放課後児童クラブ ①研修報告 ②夏の思い出
- P.8 ごみ減量作戦(袋井南・高南どろんこ教室の皆さんと)
- P.9 会員の窓
- P.10 おしらせ
食品ロス削減アンケート結果
視察研修旅行※重要(必ずお読みください)



日本の四季はいずこに



日本の誇る季節は四季といわれてきましたが、その四季を感じる事ができない気候になってきました。とりわけ、春と秋の素晴らしい季節が失われつつあります。温暖化の影響だと、はっきり識者は言いませんが、誰もが気候の変化を感じているように思うのは私だけでしょうか。雨が降れば豪雨、風が吹けば突風、猛暑・酷暑、雪が降れば豪雪等々。日本中、自然災害に季節を問わず見舞われるようになってきました。

情報を知ることの大切さ



昨年の9月に加盟する県地女連研修会で、「水害後の生活再建と支援制度活用の基礎知識」と題した講演を聞く機会がありました。講師は弁護士・防災士の永野 海 氏。実例をふまえた水害の備えと心構えや法律的観点からの話を永野氏から伺いました。水害後の生活再建と支援制度活用の基礎知識について非常に有益な情報を知り、改めて現在の制度を良く理解しておくことの大切さを強く感じました。

永野氏のお話を皆様にも聞いていただきたいと、この度、防災学習会を企画して実施することができました。その内容は3ページで報告記載してありますので、当日の出席がかなわなかった方には、ご一読いただければ幸いです。

備えあれば憂いなし



今年元旦の能登地震発生から9ヶ月が経ちますが、未だ震災の爪痕が深く残り、復興には程遠い現実があります。

復興の足掛かりとなる様々な手続きには、情報の有無が大きく左右することもあり、知ると知らないとでは大きな格差が生じてしまいます。

勿論、災害は発生しない方が良いのですが、8月の宮崎地震の後、南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表されて特別な注意喚起がなされたことは記憶に新しく、今後の備えについて考えさせられました。

「備えあれば憂いなし」は、「前もって準備していれば心配する必要はない」という意味ですが、今一度、防災・減災、自助・共助・公助についての振り返りを致しましょう。



弁護士・防災士による防災学習会

被災後の生活再建 支援制度活用の基礎知識

講師：弁護士・防災士 永野 海 氏

地震・津波防災と被災者の支援活動をライフワークとして、
命の大切さに向き合い、市民に寄り添い続ける「防災弁護士」

災害が起きないことを願ってはいますが、一方では災害に遭うことを想定し、少しでも被害を食い止める備えの知識や、被災した場合の知識を得ることは大切です。今回は、講師の永野さんから、「知っている」「知らない」では、被災後の人生を左右する「支援制度」について、一般市民に向けた内容を実例をあげてわかりやすく教えていただきました。

お話の中で何度も出てきた「半壊以上」「準半壊」「判定」「浸水被害」「応急修理制度」「公費解体制度」など、必要な支援を受けるためのキーワードとなるものがありました。名称を知って情報収集すると理解しやすい気がします。

倒壊被害だけでなく浸水被害も重要視した方がよいとのこと。災害保険料を抑えるために皆さんまずは水害部分を外すそうですが、地域によっては見直しが必要だと思いました。また、浸水した時の床下乾燥のコツなど、制度以外の役立つお話もありました。

内容は、現実を突きつけられるような部分も多いのですが、永野さんの落ち着きとユーモアを兼ね備えた優しいお話の仕方や発信するワードから、被災者に寄り添い救済するという思いが伝わってきました。前向きに上向きに導いていただいている感じがして、もし直面した場合に、受講する前よりは冷静になれるように思えました。



永野さんが立ち上げたサイト **ひさぼ（被災者支援情報さぼーとページ）**には、被災者のための様々なツールが閲覧、ダウンロードできます。まずはひさぼで検索してください。

**被災後の再建は必ずできますので、焦らず、あきらめず、
まずは支援制度を確認してみましょう。**

情報過多で本当に必要な制度を見逃してしまうおそれがあることから、ひさぼでは、数多い支援制度が見やすいように1枚のシートに表示され、各々必要な箇所を切り取って使える「被災者支援カード」や、「支援制度の早見表」などのツールがあります。また、内閣府の防災情報ページへもアクセスできて、現在起こっている災害の被災地における対応状況や、災害に関する法律も確認できます。その他、災害直後に発信された瓦版では、AI音声動画や翻訳の機能で情報を閲覧できるなど、被災者に寄り添った情報サイトとなっています。



ひさぼのQRコード

「倒壊・浸水状況等を、まずは写真や動画に録っておく」のお話もあり、スマートフォンが普及して良かったと思いましたが、受講者から「QRコード読み取り」「ダウンロード」…無関係と思っていた「色々な知識が必要と実感」「出来るか不安」との声をいただいたことから、法人の事業で何かフォローできることがあればと感じました。

ひさぼ利用にあたり、トップページの「ひさぼについて」「ひさぼの注意点」を必ず読んで、ルールを守り上手に活用しましょう。

大きな災害があるごとに支援制度が改正されています。私たちも、ひさぼや自治体のHPなどで、日頃から最新の情報を確認し（操作になれることも含め）、各々必要な基礎知識を得て、行政と二人三脚で適切な判定・支援を受けられるようにすることが大切です。同時に、地域防災情報なども入手・確認し、防災意識を高め、命を守りましょう。

参考：Waveの82号（P8）、83号（P3）に防災情報サイトや入手方法を案内しています。

令和6年9月18日（水）

13:30～15:30

袋井西コミュニティセンター

参加者75名



ふくろいファミリー・サポート・センター(ファミサポ)

令和6年度 託児・高齢者サポーター養成講座が始まります。



養成講座

- 10/22(火) ファミサポの仕組み
- 10/29(火) 認知症サポーターになろう
- 11/05(火) 子どもと一緒に楽しく遊ぼう
- 11/12(火) 救急法
- 11/19(火) 赤ちゃんのお世話
- 11/26(火) 映画「ママをやめてもいいですか」
- 12/03(火) 上手な聞き方・話し方

ステップアップ講座

- 12/10(火) 高齢者サポート研修

いろいろな講座をご用意しています！
同封のチラシをご覧ください。



一時預かり ショート・マ・パ

産前産後ママ安心サポート事業を利用して、
赤ちゃんを預けるパパ・ママが増えています。



通院やリフレッシュなど、理由を問わず
預かります。子育て中のパパ・ママの強い
味方になれるよう、保育士さん・サ
ポーターさんが活躍しています。



孤独・孤立対策推進シンポジウムに参加

7月23日(火)13時～16時30分 静岡音楽館AOI7回講堂(葵区黒金町) 役職員4名参加
【基調講演】「孤独・孤立を考える～つながる・ひろがる・かんがえる～」

元内閣官房孤独・孤立対策担当室政策参与、(福)全国社会福祉協議会会長 村木厚子 氏
他、パネルディスカッションなど

【目的】本年度4月に孤独・孤立対策推進法が施行され、また6月に重点計画が発表されました。推進法では、「地方公共団体における官民連携の基盤となるプラットフォームの形成の責務」も明示がされ、「当事者が声をあげやすい・周りが気付き対処のできる社会」を目指し、「官民が連携した支援体制整備」や「狭間の課題に取り組む団体への支援等」一丸となった支援が求められています。本シンポジウムは、静岡県における孤独・孤立対策の必要性や課題を共有し、各市町での取り組みを推進することを目的に開催。

【主催】静岡県、静岡県社会福祉協議会、教育委員会 【対象】市町行政職員(重症の支援体制整備事業、地域包括ケア推進、地域医療福祉推進職員等)狭間の課題に取り組んでいる。または関心のあるNPOや団体、市町社協職員(CSW等)、民生委員等

参加者感想

コロナ禍の影響もあって自殺者数が増加し、一層深刻な社会問題に。『社会との繋がりが少ない事』は『生活様式が死亡率に与える影響』で喫煙・過度の飲酒・肥満…等を抜き出せばトップに。又、孤独を感じているのは若い世代が多い等々…の現実を知り驚きました。そして普段は支援側にいる村木厚子さんが、認知症の義父様の徘徊に悩み、近くのコンビニに義父が入店した度にTELをお願いして、助けて貰っているそうで“困っている人も大勢いるが、助けたいと思う人も沢山いるのがこの社会”とお話されたのが印象的でした。

ふくろいファミリー・サポート・センター 鈴木記

令和6年度「法人役員と放課後児童クラブ支援員等合同研修会」

令和6年7月3日(水)9:30～11:00 教育会館4階会議室 47名出席(内 支援員・補助員33名)

【目的】令和4年児童福祉法等の一部が改正され、「児童の安全の確保に関するものは、国が定めた基準を遵守」「令和6年4月1日から、安全計画の策定を義務化」となった。策定のためのマニュアルを作成するにあたり、研修会で参考となるものを共有し、より効果的なものとする。

【研修】子ども未来課主幹兼子育て支援係係長 原野 裕子さん
「放課後児童クラブにおける安全計画・実行のポイント」



子ども未来課課長
荒浪 健さん(右)と
原野 裕子さん



研修は、(公財)スポーツ安全協会作成のDVDに沿って講習が行われた。DVDでは、大阪大学大学院人間科学研究科安全行動学研究 特任研究員 岡 真裕美さんが講師としてお話。内容は、「第1章 事故発生のメカニズム」について、一般的な要因・バイアス・人の注意資源を前述したうえで、学童保育における「安全」の責任(義務)

の事事例や具体的なアドバイス。「第2章安全計画策定・実行のポイント」については、策定の内容(すべての職員に共有)や、児童・保護者への安全指導、実践的な訓練や研修の実施、再発防止の徹底、取り組みを行うにあたっての留意事項を。最後に全体を通してのポイント①マニュアルを知らなくていい職員はいない。②日々のコミュニケーション(報・連・相)③初めから完璧を目指さず、気づいたことを加えながら改善し、施設に合ったものを作っていく。

袋井市では、放課後児童クラブ「安全計画」策定にあたり、令和5年度から安全計画マニュアル(案)を提示し、それを基に、第一歩となる「安全計画」を市内全クラブが各々作成した。主な項目は、①安全点検②安全指導③訓練・研修となっており、それぞれの放課後児童クラブの実情に応じた内容で構成されている。

法人運営の8クラブでも、今回学んだことを踏まえ、今後の「安全計画」の見直し、必要があれば市の判断を仰ぎながら変更を行っていくこととする。

今年度も、法人主催の研修以外に、行政主催の研修も多く受講している。

9月10日(火)には、袋井市主催の消防署での「応急救護」も受講した。ほか12月及び翌年2月にも開催が予定されている。6～11月には講師(市が派遣)による放課後児童クラブ「巡回指導」を、今年度は5クラブ(各3回)実施。内容は、運営管理と安全対策や子どもの育成支援などを、講師と支援員等との意見交換も行いながら、ご指導を頂く。

静岡県は、6～10月「児童クラブで起こりやすいケガ等」をテーマに開催。例年、以上のような放課後児童クラブ支援員(補助員)を対象とした研修会を開催しているが、会場の都合、午後にはクラブでの勤務があることなどから、全てに参加・全員が受講は不可能な面も。そのことから受講者が如何に、他の支援員(補助員)へ情報を共有し、皆で対等に話し合っていくかが大切。研修会参加など、あらゆる機会を通じて得た知識をクラブ運営へ適切に取り入れて「安全・安心・信頼」のクラブ運営に努めています。



子どもの育成事業 放課後児童クラブ② 夏の思い出

土曜日

7月 愛野公園展望広場



花鳥園でランチ

三川スマイル



オリジナルTシャツ作り



“知育玩具”で遊びながら
思考力と表現力をフル回転



“カプラ”でロケット4人組



“LaQ（ラキュー）”の公園

今井なかよし

暑さに負けず！遊具で
夢中になって遊ぶ子どもたち



浅羽みなみっ子



恒例のお茶会
茶道の先生とハイポーズ☆
みんな姿勢が素晴らしい！

7/23防災教室に参加
炊き出し体験や防災クイズに挑戦したよ



浅羽東っ子



＊暑中お見舞い＊初めて
はがきを書いたよ。
おばあちゃんから
「ありがとう」って
言われてうれしかった！

袋井東わくわく

大川師匠の“けん玉レッスン”



合格

笠原っ子

夏まつり開催！

前半はコミセンで、バルーンフェンシング
◆子ども達もパリオリンピックを
見ていたので盛り上がりました◎



後半はクラブ室玄関外◆暑い夏を少しでも涼しく！



浅羽北
なかよしげんき



浜名湖ガーデンパーク
へ行ってきました。
久しぶりに外で思いきり遊び、
楽しい思い出ができました。



「ごみ減量作戦」

今年も開催！子どもたちと学びました。

令和6年7月14日(日)
10:00～11:30
袋井南コミュニティセンター1Fホール
参加50名



「袋井南・高南どろんこ教室」の小学生と中学生(OBボランティア)を対象に開催。
法人の役職員も聴講しました。

講師:廃棄物対策課 ごみ減量推進係 主任主査 寺田いずみさん

寺田さんのお話・三択クイズ・分別ゲームで、袋井市のごみ処理の現状や分別方法を楽しく学びました。
私たちが今すべきことを具体的に知ることができ、とても有意義な時間を共有できました。



分別ゲームでは、プラ、紙、金属などが組み合わさっている物の分別が難しかったです。ラミネート加工された紙も「雑がみ」でした。



受講後のアンケートには「今日学んだことを家族に伝えます」とも。プレゼントの「万能分別はさみ」を使って、ぜひ家庭でも実践して下さい。



リサイクルは、民間の回収ボックスには出せない物も多く、自治会の回収ボックスとは出す方法が違う場合もあるので、よく確認しましょう。
QRコード:雑がみのリサイクル方法[袋井市]



QRコード:雑がみの回収チラシ[袋井市]

ダンボール



始めと終わりの元気な挨拶！清々しい気持ちになりました。

ありがとうございました

「袋井南・高南どろんこ教室」の皆さんと出会って…

現在、どろんこ教室を率いられている戸塚文彦さんのご指導あつてのことと思いますが、皆さんの聴く姿勢や参画する姿勢がとても立派だと思いました。また、教室に在籍していた子どもたちが、中学生になってボランティアとして参加していることもすばらしいですね。さらに、講師の寺田さんから「私もOBです」と伺い、驚きと同時に、教室の活動を通して子どもたちの、「考え、判断し、行動する力」を培っているかけがえのない地域の取り組みなのだと感動しました。

私たちの法人では、社会貢献を目標に様々な事業活動を行っていますが、特に生活環境を守るためには、各家庭やひとり一人の小さな努力の積み重ね、そして支え合いによるところが多くあると思います。今回は、日常の暮らしの一部として、それらを続けている会員さんを紹介いたします。



食は命の源 食材も大切に

両角和子さんの窓

両角さんは食生活に関する活動に40年以上携わり、その経験を生かして現在では、小学校や保育園などで出前講座を仲間たちと続けています。家庭でも、「食は生命の源」と食に関することは手間暇を惜しまずされているとのこと。例えば根菜類の頭は水栽培し、出てきた葉を味噌汁に、捨てればゴミになる物でもう一品。米のとき汁は植木鉢へ。ご本人は「皆さんもやってと思うけど」と謙遜されていましたが、継続は難しいです。

～"みかん餅"ご存じですか？～
「餅米と温州ミカン(皮ごと)を餅つき機に入れて作ります。白あんを包めば絶品ですよ」また、「被災時に、ビニール袋で乾燥麴に牛乳・砂糖をしみ込ませ、きな粉を付けて食べればどの世代の方でも、簡単に栄養が摂れます」など、色々教えていただき試してみたいと思いました。

両角さんお手製の"みかん餅"
きれいな発色に驚きです！(美味しそう)
詳しいレシピは事務局までお問い合わせください。



取材日は台風10号の影響による大雨でしたが、事務所まで来ていただきました。ありがとうございました。



ごみ・食品ロスの削減が健康維持に

村松恵美子さん(理事)の窓

「可燃ごみは細かく切って嵩(かさ)を小さくしたことで、使用する指定ごみ袋の枚数が半分以上に減っています。

毎日ハサミで細かく切る作業が、認知症予防になると思って頑張っています。」



「ピーマンの肉詰めは、丸ごと蒸し焼きにして食べています。種と綿には血流改善の「ピラジン」の含有量が実よりも多いと知りました。結果的に健康維持へも役立っています♡」



私を突き動かしてくれる友だちと小物たち

柴崎静子さんの窓

「退職後、さあ私の時間だー!と、いろんなことに挑戦。そこで、ハマってしまったのが、“布”だった。ミシン・裁縫道具・生地などを徐々買い揃え、いろんなものを作ってきた。今では、着なくなった着物をほどいてバッグ類や財布、こんなものがあつたらいいな♪という物を考えて作っている。外出先で『あっ、これいいな!何か作ることでできるかも?』と感じると、自信過剰な私は作製に取りかかる。自己流なだけに考える時がすごく楽しい。



『ああじゃない、こうじゃない』ってね。やっと完成して、作品が良からうが、悪からうが、私の満足度は半端じゃない。友人が褒めてくれようものなら、もう満足度は超超アップし、やる気も出る。他人から見れば、『な～んだ』と思うことかもしれないが、私にとっては実に立派な趣味の領域分野なのである。」



ご自宅にお邪魔しました。お宝(布地)に囲まれ、創作意欲いっぱい「いきいき」されている柴崎さんです。

地域の子どもたちを守る活動

吉川仁さん(事務職員)の窓

吉川さんは、地域の青色防犯パトロール活動を3年続けています。取材のはじめにご本人から「自治会の活動を当番として受けているだけです」とありましたが、実際のお話を伺うと、パトロールの装備で立哨(りっしょう)していると、スピードを出してきた車が減速したり、下校中の子どもたちが、“気をつけて帰ってね”の声掛けに対して、笑顔で手を振ってくれたりするとのことですので、地域の安全や安心を担っていることに間違いありませんね。そして、皆さんそれぞれ都合をつけて参加されていると思います。地域のために活動されている方々に、感謝・協力していきたいとあらためて思いました。また他にも、ファミサポ(P4)提供会員として、依頼会員のお子さんの送迎(通塾日)を行っています。我が子の安全確保ができ、保護者の方も安心してお仕事をされていると思います。



皆さんの日常の暮らしの中でのアイデアや工夫、行動されていることが、環境保全や地域の安全につながっているのですね。小さな力が集まり、お互いが助けられているのだと再認識できました。皆さんお忙しい所、快く取材に応じいただきありがとうございました。

お知らせ・ご案内(募集)

消費者保護事業「食品ロス削減」アンケート

ご協力ありがとうございました！

アンケートの結果、考察、課題、これからの法人の取り組みについて別紙(右写真)を同封しました。食品ロス削減につながる冊子なども入れましたので併せてお読みください。



文化振興事業

令和6年度 視察研修旅行

バスで行く

令和6年 **10月21日(月)** 7:30集合出発 18:30 帰着予定
(JA遠州中央袋井支店発着)

東京証券取引所見学と皇居外苑

行先は上記に決定しました。

羽田空港を楽しみにされていた方には、大変申し訳ございませんでしたが、楽しく参りましょう！

キャンセルを希望される場合は、必ず10月4日(金)までに事務局0538-43-2288へお願いします。

また、現在は若干名のお申込み可能ですが、定員40名に達した時点で、受付を終了させていただきますので、ご了承のほどお願い申し上げます。

同封のチラシ

ご確認ください。

既にお申込みの方には
案内状を同封

一緒にお花を植えませんか？



◆ 愛野メモリアルロード花壇植栽 ◆ 11月16日(土) 8:00～

雨天の場合は連絡します

愛野駅とエコパを結ぶ道路沿いに設けられた花壇です。

今年度は3箇所担当

会員さん以外の方でも大歓迎です！ご家族やお友達を誘ってご参加ください。

令和6年度 袋井市

人権文化創造講演会

一緒に考えるということ

～私たちは、「部落差別」にどう向き合っていくか～

講師：(公財)とよなか国際交流協会職員

三木幸美 さん

令和6年 **11月16日(土)** 13:30～15:00 月見の里学遊館 うさぎホール(上山梨4-3-7)

同封のチラシ、広報ふくろい9月号で詳細をご確認ください



編集後記

今年の夏は異常気象とかで、真夏日どころか猛暑日の連続でした。秋の彼岸も過ぎ“山粧”秋の訪れを心待ちにする日々です。Wave秋だよりをお届けします。毎号最後のページまでお読みいただき有難うございます。

これからも魅力ある誌面作りに努めてまいりたいと思いますので、皆様からの投稿をお待ちしています。

残暑の候ご自愛ください。

村松恵美子 高木久美子

〒437-0023 袋井市高尾783-4
NPO法人ふぁみりあネット事務局

(平日9-16時)

<TEL>0538-43-2288

<FAX>0538-31-5211

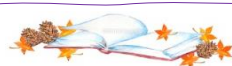
<メールアドレス>familiar-net@cy.tnc.ne.jp

<ホームページ>https://familiar-net.jp

<ホームページ>



<メール>



～秋の夜長にWaveを～

Wave90号：令和6年9月25日発行